

広報

九度山

2008

9月号

No.395

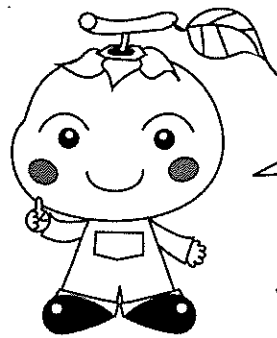


子ども陶芸教室

夏休みの思い出にみんな一生懸命につくりました。
粘土で形をつくり、2週間ほど乾かしてから、きれいに色を
塗りました。そして、釜で焼いて見事に完成しました。
僕の・私の宝物だ！！



第2回 『大収穫祭IN九度山』を 11月15日(土)、16日(日)に 入郷駐車場(旧営林署跡地)にて 開催します!!



※この事業は、「財団法人地域社会振興財団」からの交付を受けて、
「長寿社会づくりソフト事業」として開催いたします。

今月は…
フリーマーケット出店者を募集します

大 収 穫 祭 で

あなたのお店を開いてみませんか？

■日 時:11月15日(土)、16日(日)
午前10時～午後4時

※2日とも出店を原則とします。

■場 所:入郷駐車場(旧営林署跡地)

■参加資格:満20歳以上の個人・グループ

■募集区画:40区画程度【1区画3m×3m】

※先着順とし、予定区画数に達し次第、
受付を締め切りいたします。

■出店料:1区画1,000円/1日

■申込方法:役場産業振興課に備え付けの

「出店申込書兼誓約書」に、必要事項を記入の上、お申し込みください。

■申込期限:9月30日(火)

■申込み・問い合わせ:「大収穫祭IN九度山」実行委員会事務局

(産業振興課内 ☎54-2019)



昨年のフリーマーケット

九度山町の教育④

生き生きとした社会づくりで元気な子ども育ち! (子どもの安心・安全のために、がんばります)

近年、教育をめぐり、たくさんの議論や提言がなされています。その中で指摘されることは、人と人のふれ合いを通じた、心の交流が苦手な子どもが増えたり、地域と学校が共に子どもを育てる体制ができていない、そして地域の子育て支援力が細ってきていることが原因ではないかということです。

町教育委員会では、まち全体で教育を支える2つの事業を推進していきます。

地域教育力再生への 取 り 組 み

(学校支援地域本部事業)
(九度山共育コミュニティ)

放課後子どもプランの 推 進

(放課後子ども教室推進事業)

●学校支援地域本部 事業

近年、日本の社会全体として、個人主義が浸透してきており、地域のなかのつながりが希薄となつていきます。青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、「地域の教育力の低下」が指摘されています。

また、学校教育においては、教育活動以外の業務の増加が教員の負担となり、問題となっています。教員が子ども一人一人に対して、きめ細かな指導をする時間の確保が必要となっています。

このような状況から、本町においても実行委員会を設け、コーディネート者を配置し、地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携の構築を図ります。具体的には、学校支援活動(例えば、「学習を支援する活動」、「校舎等の環境整備」、「登下校の安全確保」など)を通じて、地域住民による学校支援ボランティアが支援する体制を整備していく計画です。



河根土曜教室の様子

●放課後子ども教室 推進事業

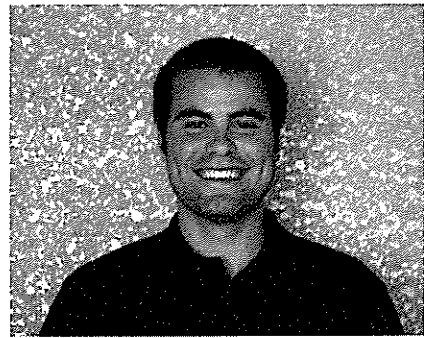
「放課後子どもプラン」とは、地域社会のなかで、放課後や週末等に子どもたちが安心して健やかに育まれるように、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を連携して実施するものです。

放課後子ども教室推進事業では、現在週末の土曜日に河根地域において、児童館などを利用して、小学生を対象に宿題や英語学習などを行っています。

また、放課後児童健全育成事業では、現在、福祉課が担当となり、九度山小学校の空き教室を利用して、学童保育を行っています。

■アトキンズさん ようこそ九度山町に!

英語指導助手(ALT)として9月1日から町内の各中学校、小学校、幼稚園で英語を教えます。
ごあいさつを紹介します。



九度山町のみなさんへ

九度山町のみなさん、はじめまして。
私の名前はTROUT EDWARD ATOKINS(トラウト エドワードアトキンズ)です。アトキンズとよんでください。九度山町で歓迎してくれたことをとてもうれしく思っています。
私はアメリカのミシシッピ州ニューアルバニー市から来ました。夏は日本と同じくらいの暑さです。日本での生活に慣れるまで時間がかかると思いますが、よろしくお願ひします。町で見かけたら声をかけてください。
私は日本の学校で英語を教えることを楽しみにしています。みなさんの英会話の力をのばすために最善をつくしたいと思います。

夏休みの思い出

■郷土をきれいにし、親子の交流を深める



大人も子どもも一生懸命になって河原をきれいにしていました

～ 親と子の丹生川清掃奉仕 ～

8月2日、丹生川河口河川敷において、町育友会連絡協議会主催の「親と子の丹生川清掃奉仕」が実施されました。
小・中学生やその保護者らを含め約150人が参加し、汗びっしょりになりながら、河原に落ちたゴミや空きカンなどを拾い、約1時間で河原はとてもきれいになりました。

森づくりを体験してみませんか

高野山町石道の森づくりボランティア募集

世界遺産高野への参詣道「高野山町石道」にある町有林を整備するボランティアを募集します。インストラクターやプロの林業家が指導するので、初めての方でも安心です。

- 実施予定日:平成20年10月19日(日)、11月23日(日)、12月7日(日)
平成21年1月18日(日)、2月15日(日)、3月15日(日)
【第2回大収穫祭 I N九度山での森林教室】
平成20年11月15日(土)、16日(日)

- 場 所:高野山町石道
- 対 象:一般成人
- 募集人数:20名程度
- 申込期日:実施予定日の前々日までに
- 申込方法:住所、氏名、年齢、性別、連絡先を明記して、申込先までFAX、もしくはE-mailでお申し込み下さい。要綱を郵送します。
- 問合せ・申込先:
九度山の森づくり町づくり実行委員会事務局
(役場産業振興課内 ☎54-2019/FAX54-2022
E-mail:sanshin@town.kudoyama.wakayama.jp)
※「平成20年度紀の国森づくり基金活用事業」で実施します

■森林づくりの輪をひろげよう

～ 森の学校 ～

8月9日から13日までの5日間、久保・北又地区において、NPO法人日本森林ボランティア協会主催による、森の学校(九度山の森再生ワークショップ)が行われました。参加者は期間中、久保地区の民家に泊まり、森林の現状を見ながら、間伐体験、炭焼きなどとおして、森づくりを体験しました。

森林ボランティアとは、林業従事者では手入れが困難な森林の保護や育成を、自主的にしている民間団体のことです。また森林ボランティアは、その活動を広く一般に知らせて、森林づくりの輪をひろげていく役割を担っています。

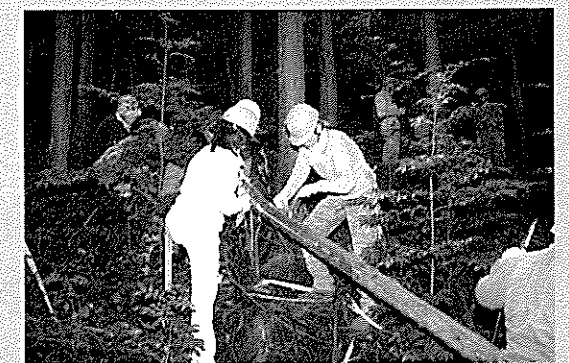
今回は全員、県外から参加していました。中学生が3名、高校生が1名、大学生が1名の計5名でした。

取材に行った時は、ちょうど久保小学校の近くにある山林で、間伐体験をしていました。インストラクターの指導を受け、悪戦苦闘しながら杉の木を切っていました。

間伐した木は、炭をつくる材料として有効に使います。



のこぎりの使い方を教えてもらいながら、間伐体験をしました



間伐した杉は皮をきれいにはいで、炭の材料にします

■柿の里ぐるみで育てる『くどやまっ子』

九度山町「共育フォーラム」が開かれる

8月19日、九度山町中央公民館において、九度山町「共育フォーラム」が開催されました。会場には約60名が訪れ、講師やパネリストの話を熱心に聴き入っていました。

今回のフォーラムは、新しい施策である「学校支援地域本部事業（九度山共育コミュニティ）」の一環として開かれ、子どもたちの問題を中心に、「学校」・「家庭」・「地域」の願い・思い・悩みなどを、それぞれの立場からみんなで考え、その解決に向けて話し合いました。



前半は、和歌山大学生涯学習教育研究センター長・教授の堀内秀雄氏により、「子どもも 大人も 共に育ち育て合う」という題目で、約45分間、講演をしていただきました。

講演の後、町内の教育関係者、育友会、地域住民代表ら5名がパネリストとなって、パネルディスカッションが行われました。

テーマは「地域ぐるみで子どもと学校を育てるために」で、パネリストがそれぞれの立場から、「地域で子どもを育てることの問題点など」、「地域から学校に、また学校から地域に望むこと」、「九度山で共育コミュニティをどう進めるか」について、多くの貴重なご意見を出していただきました。また、出席者からも貴重なご意見がありました。



パネリストからは、地域の現状とこれからの課題・解決の方法などについて、貴重なご意見をいただきました

(註) ◎コミュニティ=学校・家庭・地域が課題や願いを共有し、共に学び、共に解決するための地域社会
◎共育=共に育つ、共に育てる (和歌山県独自の名称)



スポーツ

九度山空手道クラブが 好成績

- 第3回空友会国際交流親善空手道大会で、次のとおり好成績を収めました。(敬称略)
- 幼児・小1・2年男女混合 優秀賞 平原 拓(小1)
- 小3・4男子(段外)の部 優秀賞 玉置 励伊(小4)
- 優秀賞 脇田 直季(小4)
- 優秀賞 大高 博紀(小3)
- 小5(中1男子(段外)の部 第3位 脇田真安希(小5)

■伝統行事を受け継ぐ

～傘鉾と椎出鬼の舞が奉納される～

8月16日、午後2時ごろから古沢厳島神社で「傘鉾」が、午後5時ごろから椎出厳島神社で「椎出鬼の舞」が奉納されました。

「椎出鬼の舞」は、鬼が棒を持って、笛や太鼓にあわせて勇壮に舞う行事で、五穀豊穡、悪疫払い、雨乞いなどを祈願するものです。県の無形民俗文化財に指定されています。

「傘鉾」は、3本の大きな傘鉾を先頭に、総勢約30名がお渡りをする行事です。雨乞いと五穀豊穡を祈ります。



姉妹都市交流事業

～信州上田城けやき並木紅葉まつりと平山郁夫シルクロード美術館への旅～

2泊3日

- 日程:11月7日(金)～9日(日)
- 旅行代金:1人あたり30,000円
- 申込締切:9月12日(金)【先着40名限定!】
- 申込方法:役場企画公室に備え付けの申込書によりお申込みをお願いします。
- 問合せ先:企画公室、(財)柿の里振興公社 (☎54-2019)



上田城けやき並木のライトアップ

橋本市へ合併協議の申し入れを行いました

町は8月21日、橋本市に対して合併協議の申し入れを行いました。

この背景には、本年4月、和歌山県が当初合併の枠組みとして示していた、橋本市と伊都郡3町による合併が見送りととなり、今後のまちの将来を考える中で、単独町として進むべきか、また、近隣市町と合併するかを選択を迫られていました。

町は終始一貫して合併推進の立場であり、国が平成22年3月末までの合併を推進していることもあつて、急速に進む少子高齢化・地方分権の推進・福祉や教育、地域振興など行政課題が多様化・高度化するなか、本町の厳しい財政状況を鑑み、町議会と意見を一つにして、生活圏を同じくする橋本市を相手先と決めた次第です。

今回の申し入れはあくまで、合併に関する諸問題を検討する協議の場を設けていただくためのものであり、合併すると決まったわけではありません。

今後、本町と橋本市が合併協議を行う場合には、その内容を町民の皆様にお知らせし、そのうえで合併についての最終判断を行うつもりです。

どうか、この度の申し入れについて、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

パーク&ライド重点期間イベント

「真田幸村・大坂冬の陣出立in九度山」

～真田の隠れ里を歩く～

九度山町ゆかりの真田幸村にちなみ、戦国時代スタイルに扮した参加者が、まちなかを自由に練り歩きます。

九度山町が真田幸村ゆかりの地であることをPRすると同時に、世界遺産高野地域におけるパーク&ライドの推奨により、公共交通機関の利用・環境保全の取り組みをPRします。



- 開催日:10月5日(日)
- 時間:午前10時～午後3時
- 場所:〈受付会場〉入郷町営駐車場
〈イベント会場〉九度山町商店街周辺
- 問合せ:九度山町まちなか活性化協議会事務局
(役場企画公室内 ☎54-2019)

まちなかクイズラリーを同時開催します。(当日一般の方も参加できます)

※お願い

開催当日は、戦国衣装(和装・戦国アニメキャラクター等)に扮したイベント参加者が、まちなかを練り歩きますことをご了承ください。